

横浜市感染症発生動向調査報告 8月

《今月のトピックス》

- 腸管出血性大腸菌感染症が多く報告されています。
- 風しんの報告数が多い状態が続いています。
- RSウイルス感染症の報告数が多い状態が続いています。
- 手足口病の流行警報が発令されています。

◇ 全数把握の対象

〈8月期に報告された全数把握疾患〉

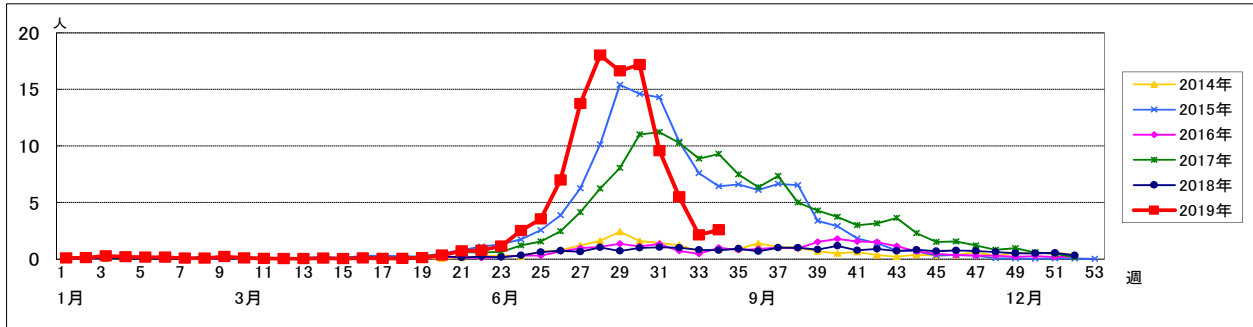
腸管出血性大腸菌感染症	14件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	4件
腸チフス	1件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
E型肝炎	2件	侵襲性肺炎球菌感染症	3件
デング熱	1件	水痘(入院例に限る)	1件
レジオネラ症	6件	梅毒	10件
アメーバ赤痢	4件	播種性クリプトコックス症	1件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7件	百日咳	14件
クロイツフェルト・ヤコブ病	2件	風しん	4件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件	-	-

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O157が10件、O103が1件、O111が1件、O121が1件(無症状病原体保有者)、O不明が1件(無症状病原体保有者)ありました。
- 2 腸チフス: シンガポールでの経口感染と推定される報告が1件ありました。
- 3 E型肝炎: 経口感染と推定される報告が1件、感染経路不明の報告が1件ありました。
- 4 デング熱: フィリピンからの感染と推定される報告が1件ありました。
- 5 レジオネラ症: 肺炎型5件、無症状病原体保有者1件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 6 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が3件、腸管外アメーバ症の報告が1件ありました。感染経路は国内での性的接触が2件(異性間1件、詳細不明1件)、経口感染(推定)が1件、不明が1件でした。
- 7 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 7件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 8 クロイツフェルト・ヤコブ病: 古典型CJDの報告が2件ありました。
- 9 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: G群の報告が1件ありました。
- 10 後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む): AIDSが2件、無症状病原体保有者が1件、その他が1件で、男性3件、女性1件でした。感染経路は、国内の性的接触が2件(同性間1件、異性間1件)、母子感染が1件、不明が1件でした。
- 11 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 80歳代の報告が1件ありました。
- 12 水痘(入院例に限る): 30歳代の臨床診断例の報告が1件(ワクチン接種不明)ありました。
- 13 侵襲性肺炎球菌感染症: 80歳以上の報告が3件(ワクチン接種なし2件、不明1件)ありました。
- 14 梅毒: 10件の報告(無症状病原体保有者6件、早期顕症梅毒Ⅰ期2件、早期顕症梅毒Ⅱ期1件、晩期顕症梅毒1件)がありました。感染地域は国内7件、不明3件で、感染経路は性的接触が8件(異性間5件、同性間1件、詳細不明2件)、不明2件でした。性別は男性7件、女性3件でした。
- 15 播種性クリプトコックス症: 80歳代の感染経路不明の報告が1件ありました。
- 16 百日咳: 10歳未満が5件(ワクチン接種あり3件、不明2件)、10歳代が1件(ワクチン接種あり)、20歳代が2件(いずれもワクチン接種不明)、30歳代が1件(ワクチン接種不明)、40歳代が3件(いずれもワクチン接種不明)、60歳代が1件(ワクチン接種なし)、70歳代が1件(ワクチン接種不明)の報告がありました。
- 17 風しん: 検査診断例4件が報告されています。20歳代1件(ワクチン接種不明、男性)、30歳代1件(ワクチン接種不明、女性)、40歳代2件(いずれもワクチン接種不明、男性)でした。

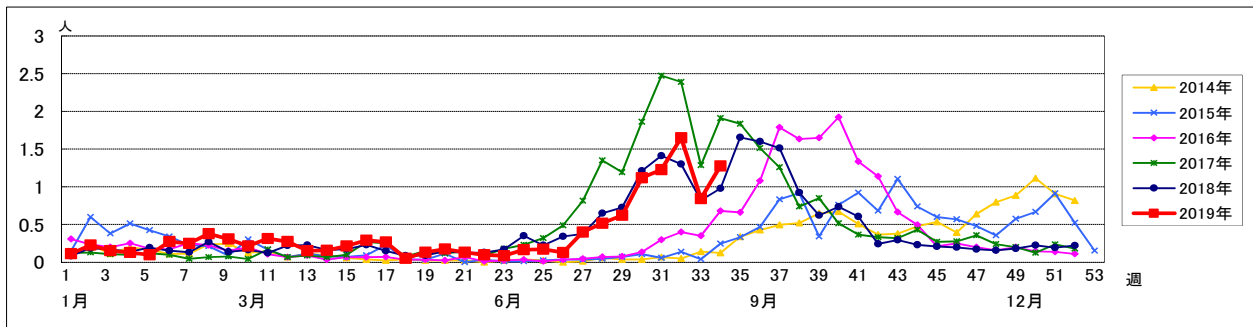
◇ 定点把握の対象

1 手足口病: 2019年は0.05から0.10で推移していましたが、第20週にて定点あたり0.35と増加を開始し、第26週にて6.98で流行警報発令基準値(5.00)を上回りました。第28週で18.01にて最大値となり、第34週は2.57となっています。今年も過去に流行した2017年、2015年の同時期を大きく上回って推移していましたが、第31週以降は下回って推移しています。流行警報は、依然として継続しています(警報解除基準: 2.00)。

報告週対応表	
第30週	7月22日～7月28日
第31週	7月29日～8月4日
第32週	8月5日～8月11日
第33週	8月12日～8月18日
第34週	8月19日～8月25日



2 RSウイルス感染症: 第27週にて定点あたり0.40と増加し、第32週で1.65にて最大値となり、第34週は1.28となっています。



3 性感染症(7月)

性器クラミジア感染症	男性:29件	女性:23件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:6件	女性:6件
尖圭コンジローマ	男性:9件	女性:1件	淋菌感染症	男性:17件	女性:2件

4 基幹定点週報

	第30週	第31週	第32週	第33週	第34週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.50	0.00	0.00	0.33	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(7月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

8月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点28件、内科定点6件、基幹定点11件、眼科定点3件、定点外医療機関から搬入された検体は7件でした。

9月5日現在、ウイルス分離1株と各種ウイルス遺伝子23件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(8月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上	下	イン	咽	RS	ヘル
	気	気	フル	(ア	ウ	パン
	道	道	エン	デ	イル	ギ
	炎	炎	ザ	ノ	ス	ー
			*	感	感	ナ
				染	染	
				症	症	
				含		
				む		
)*		
アデノ 3型				1		
アデノ 型未同定				1		
パラインフルエンザ 1型		1				
パラインフルエンザ 2型	1					
パラインフルエンザ 3型		1				
ヒトメタニューモ		1				
RS	2	4			8	
ヒトコロナ**	1					
ライノ			1			
コクサッキー A10型	1					1
合計	0 5	0 7	0 1	1 1	0 8	0 1

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

*:疑い含む

** :HCoV 229E or NL63、HCoV OC43

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

8月の「菌株同定」依頼は、基幹定点から腸管出血性大腸菌4件、チフス菌1件、赤痢菌1件、大腸菌3件、サルモネラ属菌2件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌2件、腸管毒素原性大腸菌1件となっており、非定点からは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌6件、非結核性抗酸菌3件の依頼がありました。

保健所からは、腸管出血性大腸菌11件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌6件、劇症型溶血性レンサ球菌1件の依頼がありました。

「分離同定」に関しては、基幹定点からリケッチア1件、非定点からボツリヌス毒素2件、保健所からレジオネラ8件の検査依頼がありました。

小児科定点からは、A群溶血性レンサ球菌1件の検査依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(8月)

菌株同定	項目	検体数	血清型等
医療機関	腸管出血性大腸菌	4	O157:H7 VT1 VT2 (1)、O157:H- VT1 VT2 (1)、O111:H- (1)、O103:H2 VT1 (1)
	チフス菌	1	<i>Salmonella</i> Typhi (1)
	赤痢菌	1	<i>Shigella sonnei</i> (1)
	基幹定点 大腸菌	3	<i>Escherichia coli</i> O20 (1)、 <i>Escherichia coli</i> O153 (2)
	サルモネラ属菌	2	<i>Salmonella</i> Chester (1)、 <i>Salmonella</i> Stanley (1)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	2	<i>Escherichia coli</i> (1)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (1)
	腸管毒素原性大腸菌	1	<i>Escherichia coli</i> O169:H- ST (1)
非定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	6	<i>Klebsiella (Enterobacter) aerogenes</i> (1)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (3)、 <i>Klebsiella oxytoca</i> (2)
	非結核性抗酸菌	3	<i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>massiliense</i> (2)、 <i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>abscessus</i> (1)
保健所	腸管出血性大腸菌	11	O157:H7 VT2 (4)、O157:H7 VT1 VT2 (1)、O157:H- VT1 VT2 (1)、O157 VT1 VT2 (1)、O157 VT2 (2)、O121:H19 VT2 (1)、Out VT1 VT2 (1)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	6	<i>Klebsiella (Enterobacter) aerogenes</i> (2)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (4)
	劇症型溶血性レンサ球菌	1	B群溶血性レンサ球菌 JM9 (1)

分離同定	項目	材料	検体数	同定、血清型等	
医療機関	定点	リケッチア (ツツガ虫病、紅斑熱群)	全血	1	不検出 (nested-PCR)
	非定点	ボツリヌス毒素	便・血清	2	不検出2件 (国立感染症研究所)
保健所	レジオネラ	喀痰	8	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1)、 不検出 (7)	

小児科サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌	1	A群T型別不能 (1)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】